

科目名		健康管理論	教員名	林原好美	学科等	保健栄養	必修	履修年次	3
(科目番号)		(時間割参照)			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
					授業形態	講義	オフィスアワー	非常勤講師	
授業概要		健康の概念を理解し、健康管理に関する知識を深める。栄養領域の職業人として必要な「社会と保健に関する話題に対する広い視野を涵養する。							
目的・目標		目的:健康づくり、疾病予防、感染症予防について正しい知識のもとに適切なアドバイスができることを目的とする。 目標:①健康とは何かを解説できる。 ②健康の現状について理解し、健康づくりの考え方の変遷や施策を理解する。 ③健康に関する様々な情報を見極め、個人にあった健康行動を選択する能力を身につける。							
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容					
	1	社会と健康		到達目標:健康の概念・定義、健康の保持・増進のための取り組み、健康に関する考え方の歴史、変遷、諸外国の健康に関する考え方について理解する。学習内容:健康の概念について学習する。					
	2	疫学		到達目標:統計、制度、社会情勢について、健康に関して①どのような状況であるか②課題は何かについて理解する。学習内容:健康の現状について学習する。					
	3	統計学		到達目標:統計の基本的事項、基本の統計手法のについて理解する。学習内容:データの種類や分布、記述統計、分析統計について学習する。					
	4	人口統計		到達目標:国勢調査からわかる我が国の人口の特性について理解する。学習内容:国勢調査の概要、主な人口指標、将来の人口課題について学習する。					
	5	保健統計指標		到達目標:乳幼児の健康、高齢者の健康、女性の健康、障害を持つ人の健康など、様々な立場の人々の健康管理について、健康づくりの施策を理解する。学習内容:ライフステージに沿った健康づくりの施策について学習する。					
	6	健康づくり		到達目標:WHO、国、自治体の健康に関する取り組みや個人の健康管理について、集団および社会全体で考える健康管理について、各々の健康づくりの施策を理解する。学習内容:健康づくり施策について学習する。					
	7	健康管理の方法		到達目標:EBM、EBMに基づく健康管理の考え方について理解する。学習内容:EBMに基づく健康教育の計画・実施・評価について学習する。					
	8	生活習慣と健康		到達目標:国民健康・栄養調査からわかる日本人の栄養摂取状況、身体運動・運動、睡眠・休養・ストレス、喫煙、飲酒状況を理解する。 学習目標:日本人の生活習慣の現状と課題について学習する。					
	9	生活習慣病の疫学、予防、健康管理		到達目標:がんや生活習慣病などの疾患と保健行政や保健医療の仕組みについて理解する。学習内容:様々な疾患と保健行政との関連について学習する。					
	10	地域の保健予防システム		到達目標:保健所と市町村保健センターの役割について理解する。学習内容:保健所と市町村保健センターの活動内容の違い、栄養士の役割を学習する。					
	11	社会保障制度		到達目標:日本における医療法、医療計画、医療制度について理解する。学習内容:国民医療費の定義、年金、公費医療制度、セーフティーネットなどについて学習する。					
	12	高齢者・成人の健康管理		到達目標:高齢者の医療の確保に関する法律内容、健康増進事業などについて理解する。学習内容:生活習慣病の予防対策の具体的な事業、地域ケアシステムなどについて学習する。					
	13	母子の健康管理		到達目標:母子保健]事業、健やか親子21(第2次)などについて理解する。学習内容:法定の健康診査、母子健康手帳、児童虐待などについて学習する。					
	14	学校の健康管理		到達目標:学校における健康管理の内容と課題を理解する。学習内容:学校給食の意義、栄養教諭、児童生徒の健康課題について学習する。					
	15	職場の健康管理		到達目標:トータルヘルスプリモーション、快適職場づくり、メンタルヘルス対策などについて理解する。学習内容:職業病の実態、トータルヘルスプリモーションの具体的な方法について学習する					
成績評価の方法・基準		期末試験(100%)で評価します。また評価方法は、対面授業でもオンライン授業でも同じです。							
教科書		Nブックス5訂「公衆衛生学」			後藤政幸、中村信也編著		建帛社		
参考図書		基礎から学ぶ健康管理概論、国民衛生の動向(2023/2024)			柳川洋、尾島俊之編、厚生労働統計協会		南江堂、厚生労働統計協会		
教員からのメッセージ		公衆衛生学を基礎として、社会や環境が健康にどう影響し、健康の保持・増進のために社会や環境はどうあるべきか考えます。また、保健、医療、福祉、介護システムの概要について修得します。							